第５回「東大和ヒトみらいトーク」開催結果

１　開催日時

令和７年５月１１日（日曜日）午前１０時から１１時３０分まで

２　開催場所

上北台公民館　３０１集会室

３　参加者

当日参加者１５人（定員２０人、事前申込１７人）

【当日参加者の地域別内訳】

上北台３人、向原３人、桜が丘３人、奈良橋１人、湖畔１人、狭山１人、清水１人、立野１人、中央１人

４　進め方

（１）座席の配置と名札の着用

参加者と市長が車座になってお互いの顔が見えるようにし、名札を着用して名前を呼び合いながら、フラットな状況で対話ができるようにした。

（２）副市長及び教育長の参加

市長に加え、副市長と教育長も参加することで、参加者との対話の内容を市の理事者がリアルタイムに正確に共有できるようにした。

（３）質問・意見等の可視化

参加者からの質問・意見などを共有しながら対話していくため、発言内容を付せんに記入し、テーマ別に分類のうえ、ホワイトボードに掲出した。

５　当日の意見交換内容

参加者からのご意見・ご質問及び市長からの回答については、以下のとおり（記載は発言順）。
なお、内容は要旨とし、一部表現の簡略をしている。

意見交換内容の主なテーマ

（１）子ども・子育て・教育・文化　（２）健康・医療・高齢者・福祉　（３）都市づくり・災害対策・交通
（４）行財政運営・デジタル化　（５）そのほか

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
（４）行財政運営・デジタル化	・湖畔地域の選挙の投票所は狭山公民館であるが、町丁名によっては遠いため、より近い場所（奈良橋市民センター）を投票所とすることができれば投票しやすくなる。	・湖畔地域は東西に長く、ご不便をおかけしている。 ・手続き上すぐに変更することは難しいと思うが、ご意見を選挙管理委員会と共有したい。
（１）子ども・子育て・教育・文化	・最近様々な事件が発生しているが、孤立や孤独という環境がその要因のひとつと考えられる ・孤立や孤独を防ぐことは社会全体で考えなければならない問題である。	・若者や様々な年代の人が交流できる場所がほしいという声は多く頂いている。 ・現在進めている公共施設再編の中で、市民のニーズに合った施設を検討していきたい。
（１）子ども・子育て・教育・文化	・教育分野と健康分野を結び付けた施策について、何か検討していることがあれば教えてほしい。	・今年４月に市の組織を変え、スポーツ施策を担当する課を教育委員会から市長部局に移した。 ・このことにより、スポーツと様々な分野の連携を進め、例えばスポーツやボランティア活動に楽しく参加しながら、健康づくりやまちづくりに結び付く取組などを考えていきたい。

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
（４）行財政運営・デジタル化	・ボランティア活動に参加している方が多くいるが、アピール不足で次世代に受け継がれるのか心配している。 ・市でも積極的なアピールを、幅広い世代に伝わるような方法でお願いしたい。	・市はまだまだアピール下手だと感じている。 ・来年１月から市報の全戸配布を行う予定である。市や地域の活動などの特集ページを設けるなど工夫し、多くの方々が読んでみたくなるような内容にしていきたい。
（２）健康・医療・高齢者・福祉	・高齢者施策について、東村山市でも活用していると聞いているが、研究機関の調査を活用して地域ごとの具体的な施策を検討するとよいのではないか。 ・具体的な数値に表れる取組をぜひお願いしたい。	・様々なデータをもとに施策を検討することは大切である。今後、そういった研究機関の調査結果などについても参考にしていきたい。
（３）都市づくり・災害対策・交通	・様々な世代の人や情報が自然と集まり、そこに行けば色々な人や情報に出会える場所があると、新たなアイデアなどが生まれてくると思うので、東大和市にもそんな場所が出来たら嬉しい。	・人々が集う場所はこれから必要になる。 ・他の町に住んでいる友だちや親せきに自慢できるような場所を作りたい。
（４）行財政運営・デジタル化	・東大和市は住みやすいと感じているが、一方で市の認知度が低くて悔しいと感じる。 ・子育てしやすい環境に引っ越したいと思っている世代に向けたアピールができたらよいと思う。	・東大和市のことを知りたい人が必要な情報にアクセスしやすいよう、市公式ホームページの見直しも進めていきたい。 ・市民が東大和市に住んでいてよかったと感じてもらうことも行政の役割だと思う。頑張っていきたい。

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
（３）都市づくり・災害対策・交通	・多摩モノレールが延伸される予定だが、これから上北台駅をどのように活用していくのか知りたい。	・上北台駅は「狭山丘陵への玄関口」として発展させていきたい。 ・駅の名称も魅力的なものに変更できたら良いと考えている。延伸後に、ただの通過駅とならないように取り組みたい。
（１）子ども・子育て・教育・文化	・外国籍の方を見かける機会が増えており、文化の違いなどで摩擦が生じないか不安である。 ・多文化共生について、市長の考えを知りたい。	・住民にルールをわかりやすく伝えて理解してもらうことなどが行政の役割である。 ・多国籍の方にも市を魅力的と感じて選んでもらい、互いに理解し合えるとよいと思う。
（１）子ども・子育て・教育・文化	・今後桜が丘に大きなマンションが建設予定であるなど、子育て世代の転入が予想されているが、保育園の充実や学校の整備などがいずれ課題になってくると思う。 ・待機児童などを発生させないよう、どのような対策を考えているか知りたい。	・マンション建設は市も把握しており、ある程度予測できることについては対応を検討したいと考えている。 ・一方で、現在は少子化傾向であるため、新しく保育園や学校を作っても、一定期間経過後に定員割れする可能性もある。不便なくかつ将来の負担にならないように考えていきたい。
（２）健康・医療・高齢者・福祉	・草津温泉に市民向けの保養所が出来たら、特に高齢者の方は喜ぶと思う。	・市で保養所を整備することは難しいが、協力できることがあればご相談ください。

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
（１）子ども・子育て・教育・文化	・不登校で悩んでいる方は周りに多く、各学校にサポートルームが出来たことはとても嬉しく思う。 ・たとえ学校に行けなくても、どこかホッとできる場所で誰かと「つながり」が持てれば、前に進むことができると強く感じている。	・教室には行きづらいが、サポートルームに行けば、誰か話せる人がいるかなと思ってもらえるなど、あらゆる子どもたちにとって、様々な学びができる環境を整えていくことは大切だと思っている。【教育長】 ・「コミュニティ・スクール」と言うように、地域全体でつながりが持てるような学校にしていきたい。【市長】
（３）都市づくり・災害対策・交通	・東大和市駅前について、大きな駐輪場だけでなく、みんなが集まれる綺麗な場所があると嬉しい。 ・「あそびっぐ」は他の自治体からも多くの子どもが遊びに来ているが、食事するところが無いので、近くにレストランなどがあると良い。	・東大和市駅前については、いずれは交流できる広場にしたいと考えている。 ・「あそびっぐ」は西武レクリエーション（株）が運営管理しており、今後、連携していきたい。 ・都市マスタープランに基づき、東大和市駅周辺で賑わいを創出できるよう検討したい。
（１）子ども・子育て・教育・文化	・若者だけでなく、大人や高齢者も集まることができる場所が出来ると、とても嬉しい。 ・喫茶室や読書スペースなどがあれば、近くの人に声をかけて行こうと誘えると思う。	
（２）健康・医療・高齢者・福祉	・以前、ひきこもりの方とトラブルになってしまった際、警察の方にとても丁寧に対応していただいた。 ・市にも数年前にひきこもり相談窓口が出来て、とても良いと思う。	・市役所２階にひきこもり相談窓口を設けており、すぐ近くには「そえる」という生活の困りごとに関する窓口もあるので、お近くでお困りの方がいればぜひ教えてあげてほしい。

テーマ	参加者の質問・意見等（要旨）	市長の回答（要旨）
（４）行財政運営・デジタル化	・ボランティア活動やグループ活動などを「協働」としてもっと活用していく必要があると思う。	・市民協働も頑張って取り組んでいきたい。
（４）行財政運営・デジタル化	・市報のリニューアルにあたって、更新頻度や１回当たりの編集作業など、配慮が必要なことが増えると感じた。	・市報のリニューアルに伴い考慮しなければいけないことが多くあるが、デジタルで即時性のある情報提供を行いつつ、市報を読み物として楽しんでもらえるようにしたい。
（３）都市づくり・災害対策・交通	・信号間隔が短いことから、東大和市駅前交差点で青梅街道を南進してロータリー方向へ右折するのが難しいので、見直しなどを警察に伝えてほしい。	・警察からは難しいと聞いているが、機会があった際に、改めてそういったお声をお伝えたい。
（４）行財政運営・デジタル化	・この場限りではもったいないので、本日のイベントの様子を動画配信するなどして、これから東大和市に住もうと考えている人に知ってもらうと良いと思う。	・発信すれば価値があるものに市が気づいていないかもしれない。今後の参考にさせていただきたい。

＜当日のイベントの様子＞

＜発言内容を貼り出したホワイトボード＞